・コラム「Not That Way but This」（杉浦　良）
・お知らせ
・太陽と緑の会からの助成（42）
・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

166号/2015　Since 1984

「Not　That　Way　but　This」　杉浦　良

昨年暮れに、四国学院大学の学生 14 人と富島先生が当会に来られました。今は昔、34 年ほど前の「そっちやない、こっちや」（柳澤寿男監督）の映画を見てからのネクストステージです。

「そっちやない、こっちや（コミュニティ・ケアへの道）」は、愛知県知多市の療育グループの記録で、障がい者にとってのコミュニティ・ケア（地域福祉）とは何か、を考えるドキュメンタリーフィルムです。企画は伊藤方文、制作は記録映画「コミュニティ・ケアへの道」制作委員会、構成・監督は柳澤寿男、撮影は塩瀬申幸、スチールは小林茂、協力は知多市手をつなぐ親の会、映画製作知多地域推進協力会、あさみどりの会、16 ミリカラー113 分、1982 年発表という作品です。

「撮りながら考え、考えながら撮る。これが原則の第一。事前にイメージがあり、シナリオを作り、それを映像にうつしかえる。・・地域福祉のコミュニティ・・いったいなんなんだろう・・

吉田様より、取れたての旬のお野菜と手作りの白菜キムチをたくさん頂きました。いつもお漬物やお野菜を持って来て下さり、本当に助かっています。昼食の食材として使わせて頂きます。
太陽と緑の会リサイクル作業所では平日・土曜日の昼食用みそ汁と日曜日の昼食(カレー、ビーフシチューなど)、および炊飯は、メンバーの米田さんが担当しています。
太陽と緑の会月の宮作業所でも昼食は毎日メンバーが作っています。
職員ではなくメンバーが作る、というところに意味があります。

シナリオを書ける道理がない。とにかくフィルムをまわす。現在あるものを考えながら、くりかえしみる作業を、つみ重ねていけば、コミュニティ、地域、がすこしでもみえてくるのではないか。・・文字通り試行錯誤の連続で、先行がみえたり、見失ったりした。それでも、どうにか・・出来た。それは私たちが第二の原則を忘れなかったからだろう。・・かならず、当人の意見を聞けと教えられてきた。私たちは、本当に、そうしてきただろうか。例えば『ちえおくれに何がわかる、何が出来る』ときめてかかって、私たちの論理、思惑、感情で事をすすめてきたのではなかったか。まじめに、本人の意志、立場、都合を考えたことがあったか。・・『まづ、その人に聞け』の原則をかたくなまでに守った。・・これからどうするか。どうなるか。それは、この映画づくりに力をあわせた人たち、この映画をみてくれる人たちが、どれだけ１人の市民として、自分のことは自分できめ、自分たちのことは自分たちできめる自由を守っていけるかにかかっている。」と柳澤寿男氏はパンフレットに書いています。

講義でこの映画を見た後、お土産持参で見学研修です。ここでの30年の活動を画像を見ながら説明させていただいた後、皆さんからの質問となりました。あたりさわりのない質問は簡単ですが、コアを突く質問には、歯切れの悪い、回りまわった言い回しになります。「一言で言えば？」と良くインタヴューも受けますが「一言で言えるほど簡単ではありません」などと減らず口をこぼします。前例がない新たなものほど誤解されないように言葉も増えるのでしょう。

最後に、富島先生が熱く語りかけます。映画の中での、一人の指導員がハンディあるメンバー達と一緒に、自分達の作業所の「空想設計図」なるものを作るシーンについてのレクチャーです。

「・・普通はあんなことせんよ！専門家が利用者にとって使いやすいようにやるんよ。ではなぜあの指導員は、どこまでわかっているのか解らないだろうメンバー達と、時間かけて設計図を作ろうとしたのか？あんなことをする時間があるのなら、さっさと安く早くできる方法を専門家に聞いて図面を作り、資金集めをするのが模範解答よ。しかしそうじゃないんだな！作っているときの、メンバー達の生き生きしている姿にこそ、大切なものが隠されていると思うんよ。君らが将来、障害児の先生として赴任するようになった時、上から目線になりがちな時、このシーンのことは忘れんといて欲しいんよ！」

私なりの勝手な要約では、こんな言葉になります。まだそんな先生がいたことに、少しだけホッとできる充実した研修でした。Nothing about me without me.　熱き思いが私まで伝わってきました。

職員募集のお知らせ

①専任職員（契約）1名　フルタイム
②パート職員　1名　1日4時間以上　週3日以上
詳細はホームページ（http://www.t-midori.org/）をご覧下さい。

お　知　ら　せ

見学・研修

11月25日午後２時～３時半、徳島市障害者施設見学会の見学者16名と４名の市職員の皆様が、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所に来所・見学

12月４日午後１時　社会福祉法人あおぞらの会（生活介護・就労継続支援Ｂ型・就労移行支援）（大阪府河内長野市）より２名(藤本さん、青木さん）来所・見学。

12月13日、午後１時～３時半、四国学院大学（香川県）の富島教授と２年生から４年生まで14名の学生さんが、太陽と緑の会リサイクル作業所に見学に来られました。
　一昨年の３月、昨年の12月に続いて３回目の来所となります。といっても、もちろん学生さんは毎回違う方が来られています。(本誌コラム参照)

２月16日午前10時～12時　岡山市高島地区民生委員児童委員16名の皆様が研修見学に来られました。
　地域の中で、メンバー達が活き活きするまでのドタバタの苦労話に、大きくうなずく皆さんがありました。最前線におられる連帯感とでも言える雰囲気があるのでしょうか。

２月23日３時半～　徳島県勝浦町より中田町長さんはじめ14名の方々が見学に来られました。勝浦町環境町民のつどいでお話しさせていただいたご縁です。実際はどうか見てみたいとのこと、洲本のBDF工場を見学された帰り道に立ち寄って下さいました。

１月19日～30日（午前10時～午後４時)、太陽と緑の会リサイクル作業所にて、国府支援学校（徳島市）高等部３年生１名の職場体験実習を行いました。今回で４回目。卒業後、当作業所へが決定しています。
「時給ミーティングで５円ずつ給料を上げて行きたい」と、早くも具体的な目標を出し、卒業後の通所を待ちかねている様子でした。

月の宮作業所・自転車リユース作業
ヒートガンを使用してのシールはがし

参加・会議

９月 27 日午後１時半～　杉浦参加

「住民にしかできない領域（ほっとけん、なんとかでけんか、なんとかせな）を支える！」ためのソーシャルファンド設立準備に向けた円卓フォーラム開催（於　沖洲マリーンホール）。京都地域創造基金専務理事の戸田幸典氏の講演と様々なパネラーからの意見交換会です。

今の「当たり前の出来事」は住民の「良いことしよるのにほっとけん、どないかしてあげたい」から始まっています。

課題に気づいた人たちに少し後押しすることを、住民の寄付を募りながら進めていくための準備フォーラムに、各分野の方々が勢ぞろいし、熱い議論が交わされました。

11 月１日　第 12 回ふれあいフェスティバル開催（於　徳島市加茂名南小学校体育館）杉浦参加。
徳島県内にある 16 の障害者作業所・事業所から約 220 人の皆さんが参加。

11 月 20 日、2 月 16 日　徳島市障害福祉計画策定会議　杉浦出席

２月８日　とくしま環境ボランティアのつどい開催（於　徳島県・鳴門うずしお会館）杉浦参加。

10 年続いた「とくしま環境ボランティア交流会」は、名前を変えての開催となりました。飯泉知事の挨拶と表彰式の後、2 か所の活動報告と新池川周辺の清掃活動を行いました。冷え冷えの北風に鼻水をすすりながらも、参加したメンバーS さんの笑顔が収穫でした。

杉浦講演

11 月 11 日午後１時～午後３時半　徳島県中学校「総合的な学習の時間」教育研究大会（於　徳島市入田中学校）

11 月 22 日午後２時～４時、第６回環境町民のつどい（於　勝浦町住民福祉センター（徳島県））

定休日変更のお知らせ

毎週水曜日　祝日
第２第４火曜日

今年から変更いたしました。
よろしくお願い致します。

月の宮作業所・自転車リユース作業
ブレーキワイヤーに潤滑油（乾式オイル）を注入

太陽と緑の会からの助成（42 回）

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金（古紙１キロに対し５円、鉄屑、空き缶１キロに対し６円、ウエス１キロに対し 10 円、廃食油１キロに対して 20 円）平成 25 年度後期分（平成 26 年前期配分）33 万 5500 円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

　これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。（敬称略）

①障害者福祉活動への助成

ＮＰＯ法人　聴覚・ろう重複障害者生活支援センター（地域活動支援センターの運営など）（徳島市）5000 円

あゆみ共同作業所（高知県四万十市）（平成 26 年６月４日、集中豪雨に伴う浸水被害への支援）5000 円

地域共同作業所虹（徳島県海陽町）（台風 11 号暴風被害への支援）５万円

②社会福祉活動への助成

大阪釜ヶ崎喜望の家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動）１万円

大阪釜ヶ崎出会いの家（野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動）（海苔、食料品、米・もち米等、物品支援の送料・精米代として）7532 円

徳島いのちの電話（社会福祉法人徳島県自殺予防協会）（電話による相談活動）5000 円

ＮＰＯ法人抱樸（北九州ホームレス支援機構）（ホームレス状態にある方々や生活困窮者のための自立支援）３万円

③国際協力活動への助成

ペシャワール会（アフガニスタン等での医療事業、水源確保事業、農業計画）１万円

日本チェルノブイリ連帯基金（チェルノブイリ原子力発電所事故被災者への医療支援）　１万円

ＮＰＯ法人ＴＩＣＯ（徳島で国際協力を考える会）（ザンビア等における医療・農村開発活動）１万 5000 円

⑤その他の活動への助成

ＮＰＯ法人日本ＮＰＯセンター（ＮＰＯの社会的基盤の強化を図る活動）１万円

⑥災害支援

社会福祉法人ありのまま舎（宮城県仙台市）（東日本大震災により被災された宮城県沿岸部の在宅重度難病者支援活動に対して）15 万 6790 円

阿南市集中豪雨災害義援金（平成 26 年台風 11 号・12 号）　１万円

那賀町集中豪雨災害義援金（平成 26 年台風 11 号・12 号）　１万円

支援金振込手数料 1178 円

太陽と緑の会から他団体等への助成活動は平成５年度に開始。
各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年２回、累計 1307 万 9076 円の助成を行ってきました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§2014 年 12 月 1 日～2015 年 1 月 31 日§（紙面の都合上、敬称は略させて頂きます）

ご寄付を下さった皆様

匿名、柴田、梶、匿名、大櫛　　（郵便振替口座に入金して下さった方）内原、巻島、益田、匿名、鈴江、桧垣、匿名、豊井、足立、匿名、桐生、河村、松尾、阪野、亀倉、佐藤、平池、久米、太田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○吉川、吉田、すぎの子保育園、田中、吉内、(有)山口金物店、田原、浅尾、藤井、小宮山、池本、上田、後藤、宮本、林、大西、野口、山添、児島、市川、大櫛、岡田、梶浦、氏橋、渡辺、岡本、山口、原、南部、澤田、藤本、桑島、三宅、今川、井上、飯坂、河田、藤下、石山、岡山、長井、丸中、宮崎、川崎、園田、亀谷、睦商事、加茂名南小学校、松島、長谷、撫中、梅津、尾形、須崎、川田、野田、井形、虹の家　山下、山室、前原、川島、勝瀬、堀内、富永、塩江、矢部、田口、濱田、楠、佐藤、西谷、村上、久宍、長尾、下村、戎、安芸理容室、藤田、兵庫、塚田、本田、上村、谷野、佐渡、富本、西田、大寺、大櫛内科、斎木、加藤、樫本、森井、久穂、宮竹、障害福祉課、永井、チャン　シー、前羽、尾崎、森本、小倉、鴻野、チケット徳島、鳴門屋、生島、大草、吉本、坂野、釜床、糸田川、谷、江島、赤沢、三木、中田、中野、平野、武井、宮本、西原、沖野、富山、徳島機械化センター、勝野、高橋、ファミリーマート富田橋店、原田、桐川、金田、大楠、薦田、南部、茂見、真鍋、籾井、土肥、美記、本木、竹林、河内、渡川、天羽、島田、門田、武市、安芸、寺本、元木、井口、立川、大塚歯科、原、県障害者福祉課、岸本、秦、角田、生田、野崎、大久保、増田、ビューティーオアシスチヨ、キム、大和田、坂東、夢工房、森、田原、樫本、森宮、金谷、福平、亀谷、大代、D コム、水間、田淵、岩瀬、竹内、横山、猪井、二葉、酒井、ホンダカーズ徳島大原千代ヶ丸店、森○阿波市○木南、矢部、辰巳○松茂町○重本、福原、小川、川田○小松島市○喜多、斉藤、野口、工藤、溝口、金林、野網、正部、岩本、辻○阿南市○勝瀬、四宮○上板町○渡辺○北島町○加地、島本○藍住町○藤井、田原、折口、桐川、古川、大北、木村、阿部、石躍○吉野川市○工藤○石井町○川上、佐藤、中西、田中、野村、中村、増喜、伊藤、井内○鳴門市○久龍、あけぼの調剤薬局、中岸、堀江北小学校

品物を持って来て下さった皆様（郵送含む）

○徳島市○北野、徳永、中田、山中、羽地、森本、安藤、板東、楠藤、川邉、川野、常楽園、正木、三野、前川、井内、松島、芦田、間、松田、成田、竹内、岩本、枝澤、栗林、小野、村上、柳本、小林、黒嶋、森井、高橋、四国大学学生ボランティア活動支援室、矢川、山本、佐藤、亀井、藤井、鎌田、永井、浜田、大上、神田、寺岡、金平、徳島市西富田更生保護女性会、端野、喜多、猪井、藤永、岩山、堀、小櫻、岡田、桝本、戸田、杉田、桟敷、酒井、沖成、喜田、ナルク徳島　浅野、三笠、竹田、工藤、タミ、笹山、西野、新城、長井、越前、一丸、野村、長山、脇村、中川、木村、(有)マイロード、柿原、坂本、福田、久次米、手塚、大畠、田所、野崎、井上、大野木、中村、柳生、三浦、七條、加納、阿地、三間、後藤、河崎、菅原、大林、川崎、福家、石井、今井、松本、山口、青柳、和子、谷口、北野、笠井、藪原、楠、岡島、佐々木、岩城、高松、鶴本、黒川、多田、村主、、畔内、曽我部、加藤、岩瀬、阿部、松岡、久米川、やまもも、林、尾崎、山下、大北、宮城、片山、藤本、古川、伊藤、秋山、星盛、松浦、水間、若林、堀井、田中、夏木、田村、永廣、和田、塚田、川原、谷、仲野、内海、寺内、川邉、長尾、相原、市原、杉内、沖野、四宮、岩森、伊沢、森、地中、井村、尾形、森岡、伊勢谷、明石、片岡、豊田、越谷、小山、安芸、森上、梅原、大久保、萩原、武市、浜渕、芝商事(株)、高原、升山、藤原、岩崎、枝澤、秦、楠藤、石川、田所、馬越、岩渕、中

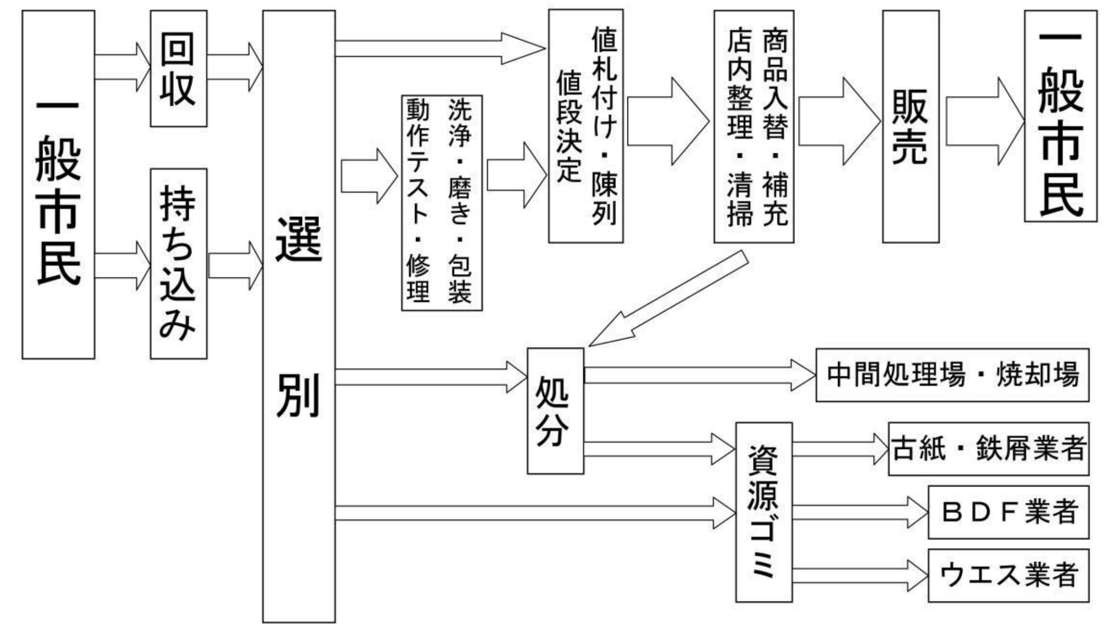
西、西森、滝口、西林○吉野川市○近藤、竹中、沼田、小松、梶、和田、吉岡、仲野、渡部、武田○小松島市○伊勢、前田、山岡、大槻、金山○上板町○山田、辰巳、稲井、高瀬○阿南市○宮城、石川、圓乗、榊、三木○石井町○高力、坂東、井上、藤本、森、後藤、山口、佐中、佐藤、秋月、本庄、山西、森、岡田、武知、堀江、田村、奥浦、リサイクルパワー○藍住町○岡田、犬伏、大久保、武田、池田、河野、鉄野、妙見、山田、内輪、入山、斉藤、山本、扶川、中川、野口、菅生、大北○佐那河内村○彦上○鳴門市○青山、東、大浦、乾、三井、井上○阿波市○三宅、森下、木村、地面○那賀町○神崎○小松島市○前川、松田、栗本、今川○北島町○角谷、小西、辰巳、大島、岡本○松茂町○伊原、内藤○板野町○井上、白田、丸益○美波町○郡○那賀町○山崎○神山町○宮原○山口県○安達○東京都○滝倉、山崎、三木○香川県○松村、琴平町社会福祉協議会、香川県隣保館連絡協議会、橋本、花房○京都府○木村、斉藤○埼玉県○本田、永峰、亀倉○福岡県○永峰○広島県○福澤○静岡県○戸倉○兵庫県○出口○長野県○吉川○宮崎県○谷口

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。
品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の３倍以上の方のご協力を頂いております。
またカレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様（毎回、メンバーも楽しみにしています）、お漬物を差し入れして下さった吉田様にもこの場を借りてお礼申し上げます。
頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。

人も活きる

リユース・リサイクルの流れ



人も活きるリユース・リサイクル
皆様から頂いた品物がリユース・リサイクルされるまでの間には、多様な種類の作業があり、様々なハンディを持ったメンバーが、そこに関わることで活かされています。

編集後記～「世間の縮図」

10 個 100 円セールというタイムセールを定期的に行っています。通常 1 個 50 円で販売しているリユース品を、時間限定で 10 個 100 円で販売します。

セールの準備から後片付けまで、様々なハンディを持ったメンバーだけで行うのが、普通のお店とは違う所です。ハンドマイクを使ってセールの呼びかけをするのもメンバー、10 個数えてお金を頂き貯金箱に入れていく会計係もメンバー、お客様がお買い上げの品物を袋に入れたり、食器を包装紙で包むのをお手伝いするのもメンバーです。

お客様にもいろいろな方がおられます。貯金箱に 10 円玉を入れて「100 円入れておいたぞ」と言ったり、10 個という数をごまかそうとしたり、カバンの中に小物をたくさん詰め込んで「１個」として通そうとしたり、と一握りの方ですが、あれこれ知恵を絞ってこられます。

ただ、それを見て「ごまかしたらあかんわ」と言って下さる有難いお客様もいらっしゃいます。

メンバーの中には、いろいろ聞かれると得意になって何でもペラペラとしゃべってしまう人もいます。そういったメンバーに近づき、商品の入替やセールの予定などの「情報」を熱心に聞き出そうとされるお客様もいらっしゃいます（特に転売目的で日参される○○の皆様…）。

小売店舗という物差しで見ると、「きちんとしていない」という印象を受けるかもしれません。ハンディを持ったメンバーはすべて排除して、健常者だけでやれば、きちんとした店にはなります。メンバーが健常者と同じレベルになれるよう訓練していく、という道もあります。

実は「努力すればできるはずだ（できないのは努力が足りないから）」という根性論で何とかできる人は、すでに一般就労しています。

努力して「健常者レベル」になれる人はごくわずかであり、残りの大多数の方の「どう生きていくのか」というテーマが残ります。「努力」を考えるならば、その人の持っているものを活かす方向で考える方が費用対効果も高く、建設的です。

太陽と緑の会での、お客様とメンバーとの関係はある意味「世間の縮図」です。サポートゼロの放任ではやっていけませんが、予防的に保護隔離するだけでは、自分の足で立って行けません。際限のない安全安心のコストは、増税という痛みになって返ってくるでしょう。

ある程度世間の荒波にもまれながら試行錯誤をしていく。お客様にもそういったメンバーの姿に少しだけ「慣れて」頂く。その日常が、地域社会でその人なりに立っていくことにつながり、社会の許容力も広がり、私達にとっても暮らしやすい社会になっていきます（小山）。

NPO法人　太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行：NPO法人　太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
ＴＥＬ・ＦＡＸ０８８－６４３－１０５４（事務局）
０８８－６４２－１０５４（リサイクル）

代表理事　杉浦 良　　編集　小山　隆太郎
データ入力・製本・発送　岡田　宇津

年会費：正会員１万円　　準会員 1,000 円
郵便振替口座：０１６２０－８－４４７０３